


JAバンク福島における 地域密着型金融の取組状況 (2018年度)

2020年2月

農林中央金庫 福島支店




JAバンク福島（県下5JAと農林中央金庫福島支店）では農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

2018年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

目次

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援（JAバンク福島の農業メインバンク機能強化への取組み）
… P 4
- II 担い手の経営のライフステージに応じた支援
… P11
- III 地域社会への貢献活動
… P 16



I 農山漁村等地域の活性化のための 融資をはじめとする支援 (JAバンク福島の農業メインバンク機能強化への取組み)

農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク福島は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 2019年3月末時点のJAバンク福島の農業関係資金^(注1) 残高は、31,627百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2) 残高は1,314百万円となっています。

(注1) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク福島が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】

(単位：百万円) (注1)

	2019年3月末
農業	16,647
穀作	3,054
野菜・園芸	1,033
果樹・樹園農業	951
工芸作物	26
養豚・肉牛・酪農	865
養鶏・鶏卵	3
養蚕	0
その他農業 (注2)	10,714
農業関連団体等 (注3)	14,980
合計	31,627

(注)

1. 百万円未満切捨表示となっております。
2. 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
3. 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】

(単位：百万円) (注1)

種 類	2019年3月末
プロパー農業資金(注2)	26,996
農業制度資金(注3)	4,630
農業近代化資金	2,950
その他制度資金(注4)	1,679
合 計	31,627

(注)

1. 百万円未満切捨表示となっております。
2. プロパー農業資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。また、プロパー農業資金の残高のうち14,980百万円は、「日銀の被災地金融機関支援オペ」を活用した貸出金です。
3. 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク福島が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク福島が低利で融資するものを対象としています。
4. その他制度資金には、日本政策金融公庫の転貸資金、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

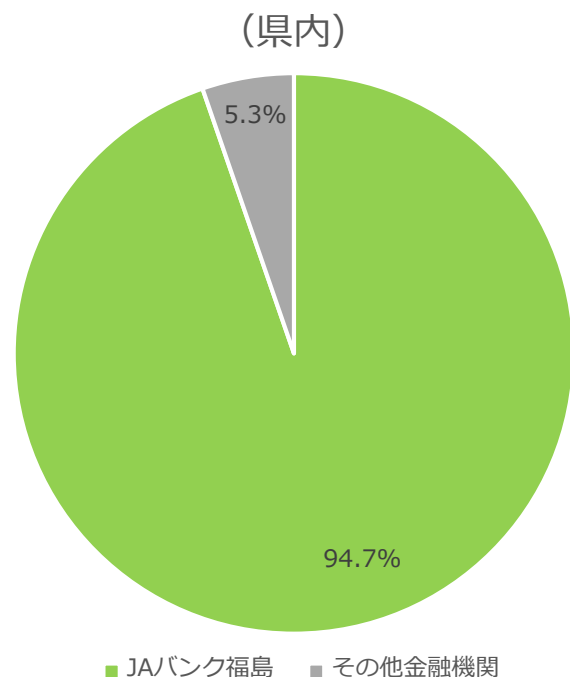
(単位：百万円)

種 類	2019年3月末
日本政策金融公庫資金	1,314
その他	0
合 計	1,314

【福島県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱シェア】

- JAバンク福島は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

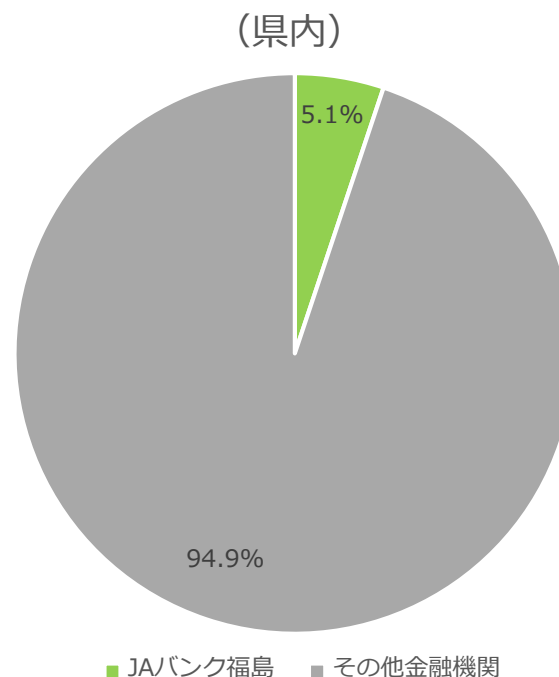
農業近代化資金 融資残高シェア



(2018年12月末時点)

出所：農林水産省・農林中央金庫

日本政策金融公庫 農業資金取扱シェア



(2019年3月末時点)

出所：日本政策金融公庫・農林中央金庫

担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク福島では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者と連携し、農業融資に関する訪問相談・資金提案活動を実施しています。また、県内5JAと金庫支店に計19名の「担い手金融リーダー」を設置し、活動のサポートをしています。
- また、JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、県内5JAにおいては、計109名が資格を保有しております（2018年度末時点）。
- 農林中央金庫福島支店では、JAにおける農業融資機能の強化に向けた取組みのサポート（農業者からの相談のバックアップ、JAとの協調融資など）や、県内農業法人との新規取引等の強化を目的として、「営業第一班・営業第二班」を設置しております。


JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、金融部署と営農・経済部署等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

取 組 内 容

JAの事業基盤である農業者への定期訪問活動において、金融部署と営農・経済部署が連携し、同行訪問や合同の情報連絡会議を開催。農業者の幅広いニーズ・意見に対応することにより、利用者満足度向上に取り組んでいます。

JAの農機販売部署や営農・経済担当者を対象に、農業資金に関する知識と借入手続等の研修会を開催し、スムーズな資金の提供に取り組んでいます。



Ⅱ 担い手の経営のライフステージに応じた支援

次世代農業者の育成支援

- JAバンク福島では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金(公庫)・JA新規就農応援資金を取り扱っています。
- JAによっては、市町村と連携しワンフロアー化による新規就農相談窓口の設置を行っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】（単位：件、百万円）

資 金 名	2018年度 実行件数	2018年度 実行金額	2019年3月末 残高
青年等就農資金（公庫）	35	197	319
就農支援資金（JA転貸）	-	-	-
JA新規就農応援資金	4	12	57
合計	39	209	375

農商工連携の推進

- 福島県、全農福島、農林中央金庫福島支店、東邦銀行を事務局として、魅力ある食品・食材を取扱う生産・加工事業者と地域色豊かな食品を求めるバイヤーの商談機会を提供し、地域経済の活性化に資することを目的に「ふくしまからはじめよう。食の商談会 ふくしまフードフェア2018」を開催しました。

【イベント開催状況】

イベント名	開催日	主催者	場所	来場団体数	内容
ふくしまからはじめよう。 食の商談会 ふくしまフードフェア2018	11月12日	福島県 JA全農ふくしま 農中福島支店 東邦銀行 (4者共催)	ビッグパレット ふくしま (郡山市南)	セラー118団体 バイヤー107団体	福島県の出展者と県内外バイヤーとの商談のマッチング 当日成約件数：42件 継続案件：343件

利子補給事業（JAバンク利子補給等）

- 農業者に対する、農業近代化資金、アグリマイティ資金、農機ハウスローン等の融資について、農業振興等に貢献するため設立されたJAバンクアグリ・エコサポート基金および農林中央金庫が最大1%の利子助成・利子補給を行い、農業担い手をサポートしています。
- 利子助成・利子補給の交付実績合計は、県内全体で2,705件（前年比+271件）、32,231千円（前年比+6,787千円）となりました。



Ⅲ 地域社会への貢献活動

食・農への理解推進

- JAバンク福島は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入等に取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、2018年度には県下の5年生在校の小学校等454校へ約19,000部が配布され、学校の授業等において活用されています。



写真：教材本贈呈式の様子



写真：贈呈した教材本

- また、県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容(一部抜粋)】

JA名	活動名	活動内容
ふくしま未来	○地域の寺子屋	地域の子育て支援を通じた食農教育活動の実施
	○ちびっこ農業大学	小学生を対象とした田植え・稲刈り体験や桃選果場の見学
福島さくら	○わくわく子供大学	地元大学と連携した食農教育活動の実施
	○親子で学ぼう！農業体験	地域の親子を対象とした田植え・稲刈り、野菜定植・収穫等の体験
夢みなみ	○あぐりスクール	小学生を対象とした田植え・稲刈り体験、田んぼの生き物調査
	○米倉庫見学	米の流通に関する学習、品質検査・放射能検査の見学
東西しらかわ	○バケツ稲指導	小学生によるバケツ稲づくりの指導
	○高校合格祈願米	受験生へ合格祈願米贈呈および米の生産に関する教育活動の実施
会津よつば	○農業体験学習	園児・小学生を対象とした田植え・稲刈り等の農業体験開催
	○学校給食への牛肉食材提供	地元食材を使用した学校給食への促進活動

環境保全活動への取組み

- JAバンク福島は、社会貢献活動の一環として、JAエコ定期貯金「福・スマイル」の寄付金を、家庭や子ども達のエコ活動を支援する福島県、子ども達の環境教育活動を行う福島大学に贈呈し、JAバンクアグリ・エコサポート基金とともに環境保全活動の支援にも取り組んでいます。

【エコ定期貯金取扱いによる環境保全活動】

事業名	実施主体	贈呈先	贈呈金額
JAエコ定期貯金「福・スマイル」	県内5JA	・福島県（地球温暖化防止活動推進センター）	496,540円
JAバンクアグリ・エコサポート事業	JAバンクアグリ・エコサポート基金	・国立大学法人福島大学	